

## 金属労協第 52 回定期大会

### 電機連合からの意見・要望

発言者：中島武志 代議員（電機連合書記次長）

本部原案に賛成の立場で 2 点意見・要望を行いたい。

#### (1) 2014 年闘争について

1 点目は、2014 年闘争についてである。

2013 年闘争においては、期間中に政府が経営諸団体に対し、賃上げの要請を行うなど異例の展開となった。先般の最賃の目安審議においても、厚生労働大臣が引き上げ要請を行ったこと、さらに、この秋にも、デフレ脱却のために、物価上昇を上回る賃上げをめざすための呼び水とする「政・労・使会議」を行う意向を示すなど、2014 年闘争に向けても、その流れは変わらず、賃上げについて社会的な期待が膨らむことが予想される。

デフレの脱却には、賃上げのみならず雇用不安・生活不安・将来不安の「3つの不安」の解消が必要であり、マクロ的な視点を踏まえ、社会的役割を強く意識した要求立案が求められるものとする。一方、物価の状況が変化していると同時に、予定されている消費税の引き上げなどにより、可処分所得の低下も危惧され、組合員の生活への影響も考慮する必要がある。

このように例年とは違った複雑な状況の中で、2014 年闘争は難しい判断を迫られる闘争になることが見込まれる。そして、議論の結果として出された要求案について、組合員に対して従来以上に十分な説明を行う必要があると感じている。

電機産業はグローバル競争の中で、依然厳しい状況が続いているが、議長挨拶にあった「賃金改善を行う方向の積極的な検討」については、経済動向、物価、産業・企業の状況、組合員の意識や生活実態などについて多方面からの十分な分析を行い、積極的かつ慎重に検討してまいりたい。

#### (2) 組織強化とより効率的な運動の構築について

2 点目は、組織強化とより効率的な運動の構築についてである。

昨年出された組織運営委員会の方針を踏まえ、財政基盤の確立を中心に各施策が実施されているものと認識している。引き続き、活動のスクラップ&ビルドをさらに推し進め、求められる運動の推進のための組織強化とより効率的な運動の構築に向けた各種施策が確実に実施されることを期待している。

来年は JCM50 周年を迎えるところであるが、節目となるにふさわしい活動の推進をお願いするとともに、電機連合としても加盟産別としての責任を果たしてまいりたい。

以上、2 点を申し上げて、電機連合の意見とさせていただきます。

以上